

# 《 総合研究所の活動 2009年4月1日から6月30日 》

共同研究	回数	開催日	研究発表者	主 題	出席人数
英語一貫教育研究	第1回	5月11日(月)	M. サベット(聖学院大学准教授)	"An Overview of Japanese Students' Lives in America"	13名
グローバリゼーション研究	第1回	4月17日(金)	阪口正二郎(一橋大学大学院教授)	「宗教とリベラル・デモクラシーの可能性——イスラーム・スカーフ問題を素材に」	15名
	第2回	6月5日(金)	林 忠行(北海道大学教授)	「東欧における体制転換の20年を振り返る——チェコ共和国を事例として」	14名
都市経営研究	第1回	6月17日(水)	川村雅人(三菱総合研究所主席研究員)	「最近の都市政策・都市計画の新動向」	18名
死生学研究	第1回	6月13日(土)	田中久美子(あいち小児保健医療総合センター保育士)	「子供における生と死」	28名
	第2回	6月27日(土)	白土辰子(東洋英和女学院大学教授)	「ガン患者の心と身体の痛み」	33名
ピューリタニズム研究	第1回	6月30日(火)	青木道彦(川村学院大学名誉教授)	「ウィリアム・ブラッドショウについて」	11名
牧会心理研究	第1回	4月10日(金)	藤掛 明(聖学院大学総合研究所准教授)	「教会における牧会者の苦悩」	7名
憲法研究	第1回	4月20日(月)	樋口陽一(東京大学教授)	「近代社会像に於けるフランスの定式性——憲法学からのひとつの見方」	27名
	第2回	5月11日(月)	栗城壽夫(聖学院大学総合研究所教授)	「ドイツ憲法の特殊性と普遍性」	21名
	第3回	6月15日(月)	瀧井一博(国際日本文化研究センター准教授)	「準邦国ドイツの選択と脱却——明治14年の政変から伊藤博文の憲法調査まで」	25名

講座・シンポジウム	回数	開催日	研究発表者	主 題	出席人数
都市経営シンポジウム	第1回	4月17日(木)	江口克彦(道州制ビジョン懇談会座長)、土居丈朗(慶應義塾大学教授)、上田清司(埼玉県知事)	「新たな国のカタチを問う——道州制と大都市圏のありかた」	165名
小学校教師のための英語教育指導法セミナー	第1回	5月15日(金)	藤原真知子、ブライアン・バード(聖学院大学総合研究所講師)	「こうやって教えよう小学校英語! 現場からの提案」	60名
スピリチュアル・ケア講演会	第1回	5月22日(金)	島 蘭 進(東京大学教授)	「スピリチュアリティの現在とその意味」	136名

人間福祉スーパービジョン・センター	スーパーバイザー		実施日	出席人数
09 グループ・スーパービジョン(全10回)	柏木 昭(聖学院大学大学院教授)		第1回 5/12、第2回 6/9	3名
個別スーパービジョン	助川征雄(聖学院大学教授)		相談者① 4/28、5/21、6/23	
			相談者② 5/26	

聖学院大学出版会	著訳者	書籍名	副題	税込定価
4月1日刊行	聖学院キリスト教センター編	神を仰ぎ、人に仕う	キリスト教概論 21世紀版	2,100円
4月24日刊行	W.パネンベルク著／大木英夫・近藤勝彦監訳	現代に生きる教会の使命		3,780円

Faculty's Luncheon Meeting	
4月15日(水)	専任教員マニュアル配布、憲法研究会新設告知、08年度研究成果報告、09年度研究計画報告
4月22日(水)	アメリカ・ヨーロッパ文化研究科の名称について、核廃絶問題についての神学的取り組み。
5月13日(水)	吉田満『戦艦大和の最期』をめぐって、渡辺善太のフッサールからの影響
6月3日(水)	研究所の役割(キリスト教養育研究、キリスト教思想史研究、外部で評価を受ける研究者を養成)、専任研究職員の研究活動、途中経過報告。
6月10日(水)	専任研究職員の研究活動報告。『弁証学としての人間学』の構想。
6月24日(水)	研究の評価について。日本ピューリタニズム学会で講演したデイビッド・アーミティージ・ハーバード大学教授の講演について。ピューリタン革命ではなく Civil War という理解の問題。

カウンセリング研究センター心理相談	カウンセラー	実施日(月曜日)	相談者
赤坂グリーンケア・ルーム	藤掛 明(聖学院大学総合研究所准教授)	4/6、13、20、27、5/11、18、25、6/1、15、22、29	20名
	村上純子(聖学院大学非常勤講師、カウンセラー)		12名